

総論

# 長野高専の学生の 建設業界への導きの取り組み

にしかわ よしお  
西川 嘉雄  
長野工業高等専門学校  
教授

## 1 はじめに

長野工業高等専門学校（以下長野高専）・環境都市工学科では、土木・建設業界で活躍する技術者の育成を行っている。学生がこの業界で就職するためには、土木・建設業界の魅力を中心に伝えることが重要である。本報告では、建設業界への導きの取り組みとして長野高専の概要、学校の進路の導き、学科の進路の導きについて説明する。

## 2 長野高専の概要

長野高専は、「優れた技術者は、優れた人間でなければならない。」の教育理念のもと社会に役立つ技術者を育成している。昭和38年に優秀な技術者の育成と県勢発展の願いを込め、地元支援のもと高専の2期校として機械工学科、電気工学科の2学科3クラス（定員120名）にて開校した。昭和42年に土木工学科が増設された。長野県内の数少ない建設系高等教育機関である。

## 3 学校の進路の導き

学校全体の進路指導は学生支援委員会で行っている。今までの進路指導実績の分析から「就職の可否は、自己分析と企業研究に基づく応募書類の作成及び入社

意思を明確に伝えるコミュニケーション能力が重要」として、進路講演会・卒業生講演会などを行っている。概要を表-1に示す。また、低学年から地道な学習や課外活動などを通じて確かな実力と、より積極的な姿勢および表現力を養うことが益々重要な課題と分析している。

表-1 進路への取り組み：学校全体

時期	内容
3学年	企業・現場見学会（4月、11月）
4学年 4～9月	インターンシップ マイナビの進路後援会
10月	三者面談1進路の確認
11月	企業・現場見学会
12月	キャリアコーディネータの進路講演会 大学による進学説明会 卒業生講演会
2月	三者面談により進路の決定
以降	就職・進学活動

### 3.1 インターンシップ事業

本格的な進路指導は、4年生のインターンシップ事業から始まる。インターンシップは、原則全学生が講義科目として受講することになっている。4月に企業からの説明会を聞き、意識付けを行う。5月にインターンシップの意義・概要・心構えの説明、5年生からインターンシップの実施報告を受け、インターンシップをどのように受けるか具体的にイメージする。7月にマナー講習会を受けたのち、8、9月にインターンシップを実施する。10月にインターンシップの内容や感想などの報告を行いインターンシップ事業

が終わる。この事業により、学生は仕事に対する意識を持つことになる。

### 3.2 進路講演会・面談

4年生の9月末にマイナビキャリアサポーターによる進路決定の進め方などの進路講演会を行う。10月の三者面談で親子共通の認識で進路（就職・進学）について意思を確認する。11月には二泊三日で県外の大きなプロジェクトの建設現場や施設などを見学することで建設業界のイメージをより具体的に知る。12月には複数の大学による進学講演会と卒業生が業界や企業の説明をする卒業生講演会が行われる。また、同じ時期に本校キャリアコーディネータによる自己分析や進路活動などの進路講演会が複数回行われる。年末年始にかけて保護者と進路について十分話し合うように指導をしたのち、2月には保護者に対する進路説明会と三者面談で志望する進路が決定する。その後は、キャリアコーディネータや教員などの指導で、エントリーシート・面接の対策を行い進学就職の準備を進める。

## 4 学科の進路の導き

学科の進路の概要と学生の進路の決定方法、学科の取り組みの概要を示す。

### 4.1 進路の概要

長野高専環境都市工学科の過去10年の進路状況を

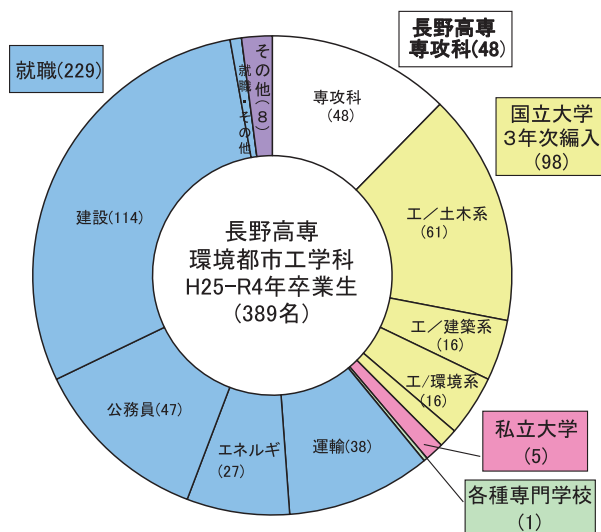


図-1 環境都市工学科の過去十年の進路

図-1に示す。就職が約6割、進学が約4割である。10年前は進学の方が多い傾向だったが、近年は就職が増えている。進学先・就職先の詳細はホームページ<sup>1)</sup>に記載している。

### 4.2 学生の進路の決定方法

学生は、学校全体で実施する進路説明会などや卒業生講演会などを参考にしながら、就職実績のある企業や先輩の話聞いて就職先を決定するケースが多かった。その場合には、職種や仕事内容など、自分のやりたい仕事や将来のビジョンを深く考えないまま、就職するケースも多く見受けられた。その影響もあるのか、早々に転職する学生も見受けられた。

2019年度から進路の決定方法を1、2年生のうちから考えながら、3～4年生で自分のやりたいことや向いている仕事を見極めて決定することが重要と分析し、学科独自の「学科企画」という講義を立ち上げることにした。

### 4.3 学科の取り組みの概要

進路への学科の取り組みを学年ごとにまとめたものを表-2に示す。「国際力」「地域力」「学科企画」で構成している。

2013年から学科の強みを出すために「国際力」「地域力」を身に着けた技術者の育成の取り組みを進めて

表-2 進路への取り組み：学科の取り組み

学年	内容
1年	地域力：環境都市演習・土木系の疑問をグループで解決（専門科目を学ぶモチベーション向上）
2年	国際力：海外インターンシップ 学科企画：現場見学会・業界セミナー
3年	国際力：海外インターンシップ 地域力：県内の土木遺産の測量 学科企画：現場見学会・業界セミナー
4年	国際力：海外インターンシップ 学科企画：現場見学会・業界セミナー
5年	書類・面接支援

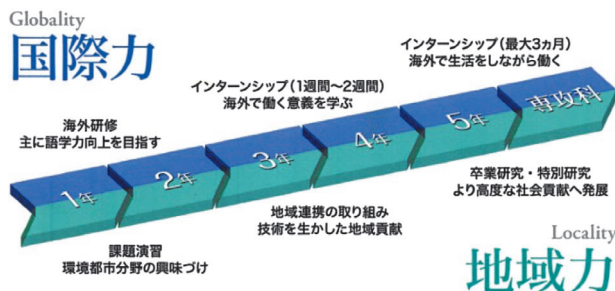


図-2 「国際力」「地域力」のイメージ